

製品名: ABCG1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06424**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	75kDa

抗原情報

遺伝子名	ABCG1
別名	ABCG1; ABC8; WHT1; ATP-binding cassette sub-family G member 1; ATP-binding cassette transporter 8; White protein homolog
遺伝子 ID	9619.0
SwissProt ID	P45844
免疫原	ABCG1 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 560-640

背景

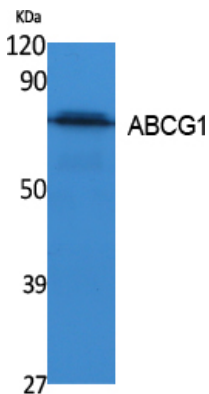
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ATP 結合カセット (ABC) トランスポータースーパーファミリーのメンバーで

す。ABC タンパク質は、細胞外膜および細胞内膜を介して様々な分子を輸送します。ABC 遺伝子は7つの異なるサブファミリー (ABC1、MDR/TAP、MRP、ALD、OABP、GCN20、White) に分類されます。このタンパク質は White サブファミリーのメンバーです。マクロファージのコレステロールおよびリン脂質輸送に関与し、他の細胞種における細胞脂質恒常性を調節している可能性があります。6つの選択的スプライスバリエントが同定されています。[RefSeq 提供、2008年7月]、代替製品: 追加のアイソフォームが存在するようです、疾患: タンジール病患者のマクロファージでは、対照群のマクロファージと比較して過剰発現しています。アテローム性動脈硬化性プラーク内の泡状マクロファージで発現しています。体外のマクロファージのコレステロール代謝およびアテローム性動脈硬化性プラークにおいて役割を果たす可能性がある。、機能: マクロファージの脂質恒常性に関与するトランスポーター。マクロファージ脂質輸出複合体の活性成分である。細胞内脂質輸送プロセスにも関与している可能性がある。細胞脂質恒常性における役割は、マクロファージに限定されない可能性がある。、誘導: コレステロール流入時に単球由来マクロファージで強く誘導される。逆に、mRNA およびタンパク質の発現は脂質流出によって抑制される。誘導は肝臓 X 受容体/レチノイド X 受容体 (LXR/RXR) 経路によって媒介される。細菌性リポ多糖 (LPS) によっては誘導されない。ZNF202 によって抑制される。、類似性: ABC トランスポーターファミリーに属します。 ABCG (ホワイト) サブファミリー。、類似性: 1つのABC 膜貫通型2ドメインを含む。、類似性: 1つのABC トランスポータードメインを含む。細胞内局在: 主に小胞体 (ER) とゴルジ膜に関連する細胞内区画に局在する。、サブユニット: ABCG サブファミリーのいくつかの異種パートナーとヘテロ二量体を形成することがある。、組織特異性: いくつかの組織で発現する。、

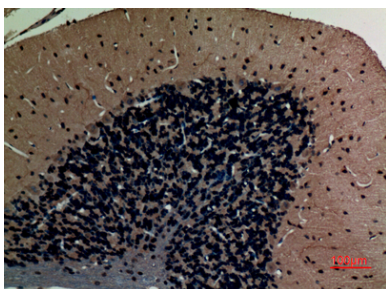
研究分野

ABC トランスポーター;

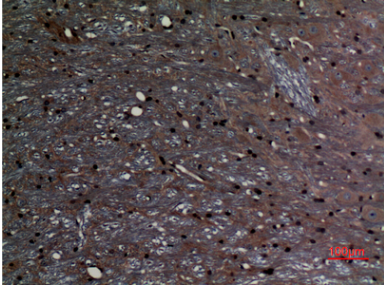
画像データ



ABCG1 ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



パラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された